

問 公正性と透明性の観点から、プロポーザル方式の採択基準と審査は何か伺う。

答 審査員には、応募団体と関係のないことを確認した上で、まちづくりや経営運営の知見を有する6名で「都市計画整合性・公益性・計画性・先進性・自立性」の5項目を各5点の25点満点、最低基準点7割で審査を行った。

問 基幹病院における事業実施において、三条市との負担割合はどのようになっているか。

答 ゼロ歳から12歳までを基礎数値として、両市の合計人数をそれぞれの対象人数で案分し算出している。

問 基幹病院における院内保育事業にも関わる事業か。

答 基幹病院併設の保育施設における事業とは別である。

問 広告料が増額となっているが、効果の見込は。

答 昨年度の広告料は当初予算に補正予算5000万円を追加して6958万円。今年度はそれを上回る7292万円とした。昨年度は補正予算で広告料を増額した結果、過去最高の54億円の寄附をいただいたので相当の効果があつたと考えている。(写真A)

問 文化庁未来100フードの認定を受けた「背脂ラーメン」のPRと、その際に掲載する店舗の選定条件について伺う。

答 PRとしてチラシやポスター、のぼりを作成し市内外に掲出する。掲載店舗の選定条件は背脂の入ったラーメンを提供していることのみを条件としており、多くの店舗に参加してほしい。

問 後継者不足や縮小が懸念される基盤技術を継承していくための制度だが、減額して新規1社分のみの予算で足りるのか。

答 新規申請は、実績から1社分のみを予算計上。また、現時点では、市内の事業者でへら絞りの技術を継承したいという企業1社から相談を受けている。

問 DXを進めるための燕版「共同受発注システム」の実績と今後の見通しを伺う。

答 令和4年度はDX生産性向上促進補助金を利用しての導入はなく、現在まで6社が利用。令和5年度は30社ほどがシステム導入の検討を進めており、引き続き費用の一部を補助していく。

ふるさと燕応援事業
13億7500万円

広告料増額で寄附の増を見込む

背脂ラーメンを市内外へPR
燕ソウルフード観光プロモーション
300万円

この金額で後継者不足を補えるのか
基盤技術人材育成支援事業
250万円

燕版「共同受発注システム」の見通しは
中小企業DX推進支援事業
2032万円

問 男女の出会いの場としての婚活イベントと新たに開催されるライフデザインセミナーについて伺う。

答 若い世代に対し、キャリアプランや、自身が求める結婚像を具体的に考える機会を提供することは重要との結論から、結婚から妊娠・出産等を考えるライフプラン、デザインセミナーを実施したい。

問 ふるさと納税の活用と内訳は。

答 令和5年度のふるさと納税額を40億円、真水分として29億5000万円を見込んでいる。内訳は、産業、教育、福祉、市長におまかせ及び全大候型子ども遊戯施設整備等への活用である。また、経費に20億円、基金への積立金として9億5000万円を充当する。

問 燕市の交流人口増加のために外部企業に職員の派遣を依頼することとしているが、その方にとっての具体的な委託事項は何か。

答 旅行、観光に携わる企業に職員を派遣してもらい、その知見や専門性を生かして燕市への来訪の機会創出や体験、交流プログラムの策定を委託し、交流人口を増やしていく。

問 法人市民税が前年8・5%増7100万円増額見込みだが、その要因と、業種別でどうなのかを伺う。

答 企業業績の緩やかな持ち直し傾向にあることから、増加している。業種別としては、製造業、卸売業が増加額の大半を占める一方で、飲食サービス、運輸業が増加に転じ、建設業、小売業が減少に転じている。

結婚・妊娠・出産、人生設計をテーマに
男女の出会いサポート事業
147万円

ふるさと納税の使い道
歳入(ふるさと燕応援寄附金)
29億5000万円

さらなる交流人口の増加に期待
応援(燕)人口拡大創出事業
2271万円

法人市民税増の詳細は
歳入(法人市民税)
9億308万円

暮らしを創る 生活・まちづくり

「さらに深める」
各委員による
予算審査
より深く

「予算議会」ともいわれる3月議会。令和5年度予算の審査は3月16日・17日・20日の3日間。延べ約14時間、約500問にも及ぶ議論から、主なものをピックアップしてお知らせします。

働く魅せる 産業・観光

滞納相談は市民が気軽に聞ける対応を
歳入(個人市民税滞納繰越)
2441万円

問 滞納繰越見込み額が、前年比で12%の減となっているがどうしてか。納税相談や差押え件数はどうか。

答 過去3年間の実績に基づいた見込みであり、新たな滞納を増やさないようにと滞納整理、滞納処分に取り組んだ。相談は月約20件で、差押えは2月時点で全体で48件、個人市民税では22件だった。

学ぶ 育てる 子育て・教育

ご存知ですか？保育士等資格取得を支援

保育士等修学資金貸付事業

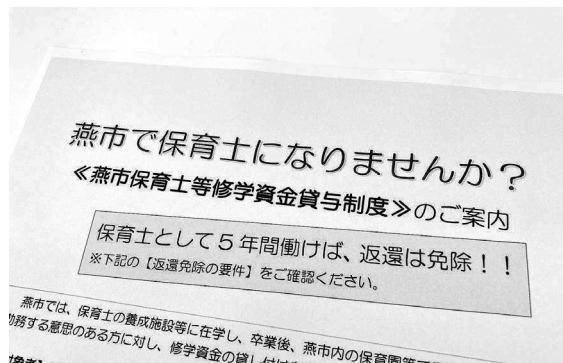
601万円

問 計上された予算は10名分であるが、それを超える申請があった場合、補正対応する考えはあるか。

答 公立、私立園ともに人材不足の深刻化が懸念されている状況を踏まえ、予算の補正をお願いしたいと考えている。

問 貸付けを受けた者全ての、卒業後の燕市内での就職は可能なのか。

答 現在の保育士等の応募状況非常に高まっている状況から推察するに、数年後の保育士求人が減少することは考えにくく、また、市立保育園の民営化を控え、保育士の必要性は高まることを予想している。
(写真B)



B 保育士等を目指す皆さんを応援、市民以外も対象、市内保育園に5年間勤務で返還免除

「部活動改革」、地域移行に課題

部活動外部人材活用事業

1216万円

問 外部指導者は確保できるか。

答 令和4年からの指導者の継続のほか、ボランティアとして活動している人材を新たに外部指導者として活用していくことで、指導者の確保はできると考えている。

問 部活動の地域移行は休日としているが、平日部活動との関係はどう考えているか。

答 休日の地域移行から進め、取り組みの進捗を踏まえいずれば平日の部活動も地域移行することとして考えている。

問 文科省の方針が二転三転しているが、基本方針や移行期について伺う。

答 3年間を改革推進期間とする国のガイドラインに従い、全市で原則実施できることを目標とするが、可能な範囲の中で取り組んでいきたい。

「おやつ」は家庭に代わる保育の認識を

歳入(児童クラブ間食費実費負担金)

2089万円

問 新年度は間食提供するのかが、令和4年度補正予算では丸々減額補正されたが、あくまでも「コロナ対策として提供を中止した」との説明。設立時からずっと提供してきたことを考えるべき。

答 保護者の意向を聞いた上で、統一的提供は中止する。個別対応がサービス向上につながる。法人施設も検討中と聞いている。

磨く 輝く スポーツ・文化

燕市内で暮らす外国の方のために

多文化共生事業

100万円

問 市内には20か国ほどの外国の方が暮らしている。交流会の内容について伺う。

答 防災対策や、ごみ出しのやり方など、生活に関する講座に加えて、海外の異文化に触れることができる内容を計画している。参加者同士が交流の中で、互いの理解や親睦を深める時間を設ける予定である。